

(数的推理)

ある池の周りをAが分速70mで、Bが分速80mで歩く。この池の周りのある地点から、2人とも同時に時計回りに歩き始めたところ、AがBより1周遅れてBに追い越されるまで15分かかった。この池の周りのある地点から、Aが時計回りに、Bが反時計回りに同時に歩き始めると、2人が最初に出会うのは何分後か。

- 1 1分後
- 2 2分後
- 3 3分後
- 4 4分後
- 5 5分後

(判断推理)

A～Fの6人がバーベキューを行った。6人は、肉2種類(牛肉、豚肉)のうち1種類と、菜4種類(ピーマン、玉ねぎ、にんじん、なす)のうち2種類の合計3種類を組み合わせ、それぞれ1本の串に刺した。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- ・6人の串をみると、牛肉がある串は4本、豚肉がある串は2本、ピーマンがある串は3本、玉ねぎがある串は4本、にんじんがある串は2本、なすがある串は3本であった。
- ・6人の串は、肉と野菜の3種類の組合せが互いに異なっていた。
- ・Aの串には、ピーマンと玉ねぎがあった。
- ・Bの串には、豚肉があった。また、BとEの串の野菜は2種類とも同じであった。
- ・CとDの串は、ピーマンのみが同じであった。
- ・Fの串は牛肉、玉ねぎ、にんじんの組合せであった。また、牛肉とにんじんの両方がある串はFの串以外にはなかった。

- 1 Aの串には、豚肉があった。
- 2 Bの串には、にんじんがあった。
- 3 Cの串には、牛肉があった。
- 4 Dの串には、玉ねぎがあった。
- 5 Eの串には、なすがあった。

(資料解釈)

あるパン屋ではパン類とケーキ類の2種類のみを販売しているが表は2001～2007年のそれぞれの売上高の推移を示したものである。これからいえることとして最も妥当なのはどれか。

年	売上高(単位：10万円)	
	パン類	ケーキ類
2001	490	154
2002	466	227
2003	458	277
2004	508	222
2005	522	259
2006	525	277
2007	528	318

- 1 2002年以降の各年の総売上高をみると常に前年よりも増加している。
- 2 各年の総売上高をみると最も多かった年は最も少なかった年よりも3,000万円以上多い。
- 3 2002年以降のパン類の売上高の対前年増加率はケーキ類の対前年増加率を常に上回っている。
- 4 総売上高に占めるケーキ類の割合は2005年よりも2007年のほうが大きい。
- 5 総売上高に占めるパン類の割合は2006年が最も大きい。

(文章理解)

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

これも今は昔、田舎の児の比叡の山へ登りたりけるが、桜のめでたく咲きたりけるに、風のはげしく吹きけるを見て、この児さめざめと泣きけるを見て、僧のやはら寄りて、「などかうは泣かせ給ふぞ。この花の散るを惜しう覚えさせ給ふか。桜ははかなきものにて、かく程なくうつろひ候なり。されども、さのみぞ候」と慰めければ、「桜の散らんは、あながちにいかがせん、苦しからず。我が父の作りたる麦の花の散りて、実の入らざらん思ふが侘しき」といひて、さくりあげて、よよと泣きければ、うたてしやな。

- 1 田舎の子どもは父の作った麦の花が散ってしまって悲しかったことを思い出し目の前にある桜の花だけは散らずに一日でも長く咲き続けることを願った。
- 2 田舎の子どもは比叡山の頂上に行けば桜の花が咲いているものと楽しみにしていたが桜の花はすでに散ってしまっておりこれを見ることができなかった。
- 3 一人の僧が田舎の子どもへ桜ははかなく散るものであることを説いたがその子はこれを聞き入れず散った桜が口惜しく激しく泣き続けた。
- 4 田舎の子どもは強風で桜が散りそうなを見てこの風で父親の作った麦の花が散ってしまい麦が実らないことを心配して泣き出した。
- 5 田舎の子どもは桜の花の散りゆく美しさに感動してこれを父親に見せてやりたいと思ったがそれがかなわないことに思わず涙を流してしまった。